

新オレンジプランの改訂（平成29年7月）について

○主な数値目標

| 項 目 | 改訂前 | 改訂後 | |
|------------------------------------|---------------|---------------|---------------|
| | 2017年度 目 標 | 2016年度 実 績 | 2020年度 目 標 |
| 認知症サポーターの人数 (累計) | 800万人 | 880万人 | 1,200万人 |
| かかりつけ医認知症対応 力向上研修会の受講者数 (累計) | 60,000人 | 53,000人 | 75,000人 |
| 認知症サポート医養成研 修の受講者(累計) | 5,000人 | 6,000人 | 10,000人 |
| 歯科医師認知症対応力向 上研修の受講者 | — | — | 22,000人 |
| 薬剤師認知症対応力向上 研修の受講者 | — | — | 40,000人 |
| 看護職員認知症対応力向 上研修の受講者 | — | — | 22,000人 |

上記以外に認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者養成研修の受講者数の目標設定の引き上げ。

○改正点（抜粋）

＜認知症サポーターの養成と活動の支援＞

- ・認知症の人と地域で関わる人が多いと想定されている小売業・金融機関・公共交通機関の職員に認知症の理解を深めてもらうため、認知症サポーターについて周知し、受講を勧めることにより、認知症に気づき、関係機関へ速やかな連絡等、連携できる体制整備を進める。
- ・平成29年度に改訂した新中学校学習指導要領の技術・家庭科では、「介護など高齢者との関わり方について理解すること」など新たに明記。

＜認知症の人の介護者の負担軽減＞

- ・認知症の人が集まる場や認知症カフェなど、認知症の人や家族が集う取組を全市町村に普及させ、こうした活動の情報を市町村や包括支援センター等から住民に発信する。